

令和5年度（2023年度）

学 生 募 集 要 項

〔 大学入学共通テストを
課さない学校推薦型選抜 〕



宮 崎 大 学

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育

高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

2. 社会性・国際性の教育

地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。

3. 専門性の教育

新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、基礎教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

令和5年度（2023年度） 入学試験日程

	大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜		
学部・学科等	教育学部 学校教育課程 教職実践基礎コース （宮崎県教員希望枠） 発達支援教育コース 特別支援教育専攻	農学部 植物生産環境科学科 森林緑地環境科学科 応用生物科学科 海洋生物環境学科 畜産草地科学科	地域資源創成学部 地域資源創成学科
インターネット出願登録期間	令和4年（2022年）10月25日（火）～令和4年（2022年）11月4日（金）		
出願期間	令和4年（2022年）11月1日（火）～令和4年（2022年）11月4日（金）		
試験日	令和4年（2022年） 11月24日（木）	令和4年（2022年） 11月22日（火）又は 令和4年（2022年） 11月23日（水）（注）	令和4年（2022年） 11月26日（土）
合格者発表	令和4年（2022年）12月9日（金）		
入学手続期間	令和5年（2023年）2月20日（月）17時まで（必着） ※原則として郵送とする		

（注）いずれか1日の受験となります。

＜重要＞

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、この募集要項に記載している選抜方法とは異なる方法で実施することがあります。また、出願期間や試験日等についても今後変更することがあります。変更することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ上でお知らせします。

＜出願について＞

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校内外でのさまざまな活動に長期にわたる影響が出ているものと存じます。本学ではこのような状況に適切な配慮を行いつつ選考を行いますので、積極的な出願の検討をお願いします。

目 次

1. 学部のアドミッション・ポリシー	1
2. 募集人員等	7
3. 対象者及び推薦人員	8
4. 出願手続	10
5. 受験票の印刷	15
6. 選抜方法等	15
7. 受験上の注意事項	18
8. 不正行為について	19
9. 新型コロナウイルス感染症への対応及び留意点	20
10. 合格発表	21
11. 一般選抜、学校推薦型選抜への出願及び受験	21
12. 本学の一般選抜を志望する者の手続	21
13. 入学手続等	22
14. 入学手続に関する注意事項	25
15. 個人情報の取扱いについて	25
16. 入学試験成績の情報開示	26
17. 統計資料	27
18. 試験場配置図	28

1. 学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育学部

課程・コース		課程・コースのアドミッション・ポリシー
学 校 教 育 課 程	教職実践基礎コース	<p>教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。</p> <p>1. 求める学生像</p> <p>教職実践基礎コースでは幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能（以下、「知識・技能」）を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身につけ、それを幼児教育・初等教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性（以下、「協調性」）を持っている人を求めています。</p> <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般選抜（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学修で必要となる発展的学力について、大学入学共通テストと個別学力検査、面接によって、「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。</p> <p>2) 学校推薦型選抜（宮崎県教員希望枠） 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接、小論文及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）によって、宮崎県の教員をめざし、地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲と、現代の教育課題に対応するために他者と協力して課題解決しようとする意欲を持つ人を受け入れるために、多様な能力を総合的に判断します。 面接では「教職への意欲」、「協調性」、「思考力」、「表現力」について評価します。 小論文では「知識・技能」、「思考力」、「表現力」について評価します。 推薦書・調査書では「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力」、「協調性」について評価します。 志望理由書では「教職への意欲」、「表現力」について評価します。</p> <p>3) 帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、小論文、面接によって「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」を評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</p>
		発達支援教育コース 特別支援教育専攻

(2) 農学部

学科	学科のアドミッション・ポリシー
植物生産環境科学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識の修得や安全・高品質な農・園芸作物の安定供給、生産環境の改善、環境調和型農業の実現に対して熱意を持って取り組み、植物生産環境科学分野における課題解決能力をもち、学修を通して獲得した国際的視点、知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、植物生産環境科学科では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境に配慮した農業生産や自然科学に対する関心をもっている人（学問への関心） 2. 大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎学力をもっている人（知識・理解） 3. 自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力をもっている人（思考力、表現力） 4. 学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組むことができ、国際的な視野と責任感をもっている人（主体性） 5. 学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもっている人（協働性）
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学修で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。 調査書によって、学問への関心、主体性、協働性について評価します。</p> <p>2) 学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では学問への関心、知識・理解、思考力、主体性、協働性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、学問への関心、知識・理解、表現力、主体性、協働性について評価します。</p> <p>3) 帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、小論文、面接、出願書類によって、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性を評価します。</p> <p>4) 社会人選抜 社会人に対し、面接、出願書類によって、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接、出願書類によって、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>理科、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、主体性、協調性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
森林緑地環境科学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、森林緑地環境科学科では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 森林・緑地の諸問題の解決に向けて熱意を持って自ら取り組む人（主体性） 2. 森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味と探求心を有する人（学問への関心） 3. 環境問題をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、その結果を表現する力を有する人（思考力、表現力） 4. 大学での学修の基盤となる幅広い知識や言語力、森林・緑地に関する基礎学力を有する人（知識・理解） 5. 様々な活動において他者と協力しながら課題解決を図るとともに、自らの能力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を有する人（協働性）
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学修で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。 調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。</p> <p>2) 学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協働性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協働性について評価します。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
森林緑地環境科学科	<p>3) 総合型選抜 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）、模擬講義等の受講及びレポートの作成及び個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解、主体性、協働性について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 模擬講義の受講及びレポート作成では、思考力、表現力、学問への関心について評価します。 個人面接では、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心について評価します。</p> <p>4) 帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、小論文、面接、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、協働性を評価します。</p> <p>5) 社会人選抜 社会人に対し、面接と出願書類によって、知識・理解、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心を評価します。</p> <p>6) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、協働性、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>理科、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修効果を高め、充実した学生生活を送るために、自ら興味を深め課題を発見する姿勢や、多様な意見を聞きながら多くの人と協力して課題解決をはかる態度も、あわせて身に付けておくことを望みます。</p>
	応用生物科学科
<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学修で必要となる理数系科目についての発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。 調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。</p> <p>2) 学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協働性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協働性について評価します。</p> <p>3) 帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、小論文、面接、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、協働性を評価します。</p> <p>4) 社会人選抜 社会人に対し、面接、出願書類によって、知識・理解、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、協働性、主体性、学問への関心を評価します。</p>	
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>理科（特に化学・生物）、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく学習しておく必要があります。また、主体性、協働性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>	

学科	学科のアドミッション・ポリシー
海洋生物環境学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、環境と食糧生産の諸問題に関する分析力・解決能力、特に海洋環境学分野における課題解決能力を重視し、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を海洋環境学分野の技術者として社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。更に地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、海洋生物環境学科では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味を有している人（学問への関心） 2. 海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組むことができる人（主体性） 3. 実験や観察において深く考察し、その結果を表現する力がある人（思考力、表現力） 4. 大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力を有する人（知識・理解） 5. 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる人（協働性）
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学修で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テスト、個別学力検査によって、知識・理解、思考力及び表現力を総合的に評価します。 調査書によって、主体性、協働性及び学問への関心について評価します。 2) 学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、主体性、学問への関心及び知識・理解を評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、協働性、学問への関心及び知識・理解を評価します。 3) 総合型選抜 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）、模擬講義等の受講及びレポートの作成及び個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、主体性、協働性及び学問への関心について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、主体性、協働性、学問への関心及び知識・理解について評価します。 模擬講義の受講及びレポート作成では、思考力、表現力、学問への関心について評価します。 面接では、主体性、学問への関心及び知識・理解を評価します。 4) 帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、面接と小論文、出願書類によって、主体性、協働性、学問への関心、思考力、表現力及び知識・理解を評価します。 5) 社会人選抜 社会人に対し、面接と出願書類によって、主体性、協働性、学問への関心、思考力、表現力及び知識・理解を評価します。 6) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、主体性、協働性、学問への関心、思考力、表現力及び知識・理解を評価します。
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、海洋環境、海洋生物生産・増殖などの自然科学については、本を読むなどして知識を深めてください。また、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性、表現力などもあわせて身に付けておくことを望みます。</p>
畜産草地科学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>畜産草地科学科では、農学に関する基礎知識、草地・飼料、家畜、資源・環境及び食料・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能、専門分野に関する国際性と課題解決能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、畜産草地科学科では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 動植物に対する幅広い興味や関心を有する人（学問への関心） 2. 大学での学修の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力を有する人（知識・理解） 3. 実験や観察において深く考察する能力を有し、その結果を表現する力をもっている人（思考力、表現力） 4. 資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に熱意をもって取り組むことのできる人（主体性） 5. 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元できる資質を有する人（協働性）
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学修で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。 調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。

学科	学科のアドミッション・ポリシー
畜産 草地 科学 科	<p>2) 学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協働性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心进行评估します。</p> <p>3) 帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、面接、小論文、出願書類によって、表現力、主体性、協働性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。</p> <p>4) 社会人選抜 社会人に対し、面接と出願書類によって、主体性、協働性、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心进行评估します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>
	<p>生物、化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>

(3) 地域資源創成学部

学科	学科のアドミッション・ポリシー
地域資源創成学科	<p>地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>地域資源創成学部では地域振興に対して熱意（学問への関心）を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力（知識・技能）を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般選抜（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と社会科学および自然科学系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力について総合的に評価します。また、主体性評価として、調査書、自己申告書によって、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を評価します。</p> <p>2) 一般選抜（後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と社会科学および自然科学系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査の小論文によって、知識・技能、思考力、表現力を総合的に評価します。個別学力検査の面接では、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を評価します。</p> <p>3) 学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、小論文、面接によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文では、知識・技能、思考力、表現力について評価します。面接では、提出書類を踏まえて、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を審査します。</p> <p>4) 社会人選抜 社会人に対し、提出書類を踏まえた面接によって、知識・技能、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心などを評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、提出書類を踏まえた面接によって、知識・技能、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を総合的に評価します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>	
<p>国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、科目を越えて地域を捉える姿勢、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	

2. 募集人員等

学部	学科・課程	コース・専攻等	募集人員
教育学部	学校教育課程	教職実践基礎コース (宮崎県教員希望枠)	5
		発達支援教育コース 特別支援教育専攻	3
	小計		8
農学部	植物生産環境科学科		10
	森林緑地環境科学科		7
	応用生物科学科		13
	海洋生物環境科学科		2
	畜産草地科学科		12
	小計		44
地域資源創成学部	地域資源創成科学科		20
	小計		20
合計			72

(備考)

入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部、農学部は前期日程、地域資源創成学部は後期日程の募集人員にその満たない人数を加えます。

3. 対象者及び推薦人員

学校推薦型選抜は、合格した場合必ず入学することを確約できる者で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者を対象としています。

高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。

学部（学科・課程等）別の出願要件及び推薦人員等は次のとおりです。

教育学部

出願要件の共通事項

- ア. 高等学校を令和3年（2021年）4月から令和5年（2023年）3月までに卒業又は卒業見込みの者
- イ. 出身高等学校長が責任をもって推薦できる者
- ウ. 合格した場合は入学することを確約できる者

各コースの出願要件

- (1) 学校教育課程教職実践基礎コース（宮崎県教員希望枠）
 - ・ 小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績概評がA段階に属し、卒業後は、本学大学院教育学研究科に進学することを志望し、宮崎県の小学校の教員となることを希望している者
 - ・ 推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。
- (2) 学校教育課程発達支援教育コース 特別支援教育専攻
 - ・ 特別支援学校教員になることに対する熱意を有し、特別支援学校教員としての適性があり、学習成績概評がA段階に属する者
 - ・ 推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。

農学部

出願要件の共通事項

- ア. 学習成績概評がA段階に属し、人物・能力・素質・適性等に優れ、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者
- イ. 合格した場合は入学することを確約できる者

各学科の出願要件

- (1) 植物生産環境科学科
 - ・ 高等学校を令和4年（2022年）4月から令和5年（2023年）3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - ・ 推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。
- (2) 森林緑地環境科学科
 - ・ 高等学校の「普通科」、「総合学科」、「農林業及び工業（情報系、土木系）」に関連のある学科」を令和4年（2022年）4月から令和5年（2023年）3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - ・ 推薦人員は、各高等学校の対象となる学科から2人以内とします。
- (3) 応用生物科学科
 - ・ 高等学校の「普通科」、「総合学科」、「農林水産業（食品関係も含む）及び工業（生物工学系）」に関連のある学科」を令和3年（2021年）4月から令和5年（2023年）3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - ・ 化学と生物に強い興味を持っている者
 - ・ 推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。

(4) 海洋生物環境学科

高等学校の水産系、海洋系、総合系あるいはこれらに準ずる学科で水産・海洋系の科目を25単位以上履修し（見込みを含む）、令和5年（2023年）3月に卒業見込みの者

- ・海洋生物に強い興味を持っている者
- ・推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。

(5) 畜産草地科学科

・高等学校を令和4年（2022年）4月から令和5年（2023年）3月までに卒業又は卒業見込みの者

・生物学と化学に強い興味を持っている者

・推薦人員は、下記のとおりとします。

1. 「農業に関連のある学科（農業に関連のある科目を25単位以上履修する総合学科を含む）」は、各学科から2人以内とします。

2. 「農業に関連のない学科（農業に関連のある科目を25単位以上履修しない総合学科を含む）」は、これらの学科全体の中から1人とします。

※出願要件に疑問がある場合は、事前に農学部教務・学生支援係（0985-58-3834）へ照会してください。なお、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境学科及び畜産草地科学科の出願に際して履修状況の要件を確認される場合は、事前に志願者の履修課程表を添えて文書で照会してください。

地域資源創成学部

出願要件

ア. 令和3年（2021年）4月から令和5年（2023年）3月までに卒業又は卒業見込みの者

イ. 学習成績全体の評定平均値が4.0以上に属する者のうち人物・能力・素質・適性等が特に優秀で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者

ウ. 合格した場合は入学することを確約できる者

エ. 推薦人員は、各高等学校等から5人以内とします。

4. 出願手続

インターネットを利用した出願を行います。本学に入学を志願する者は、次の(1)～(6)により、手続きを行ってください。また、出願の流れ(13ページ)も参照してください。

インターネット出願登録後、入学検定料を支払い、(2)の提出書類を郵送又は持参することで、出願完了となります。(3)の受付期間内に提出書類の郵送がない場合、出願未完了(登録データは無効)となりますので、注意してください。

(1) インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

- ① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料17,000円(別途、払込手数料900円)の支払い(以下「インターネット出願登録」という。)が必要となります。

※個人成績開示を希望する場合は、開示手数料800円を入学検定料と併せてお支払いください。

<インターネット出願登録サイト>

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>

- ② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。

ア 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア、銀行、ATM、クレジットカード及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。

イ 電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。(この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。)

ウ 受験票及び写真票に使用する写真データが必要となります。上半身脱帽正面向き無背景で、直近3か月以内に撮影した100KB～5MBサイズのjpg又はpngデータをアップロードしてください。

エ A4サイズの用紙が印刷できるプリンタ(モノクロ、カラーどちらでも可)が必要です。

印刷用紙は普通紙で構いません。(出願情報の登録内容を印刷することになります。)

オ (2)の提出書類のうち、「② 出願者が準備する必要提出書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要する場合があります。

- ③ 自宅や在籍する学校・予備校等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、宮崎大学学び・学生支援機構入試課(0985-58-7138)まで相談してください。

※ インターネット出願システムの操作・登録方法等の詳細については、上記<インターネット出願登録サイト>をご覧ください。志願受付操作サポート窓口までお問い合わせください。

志願受付操作サポート窓口：0120-752-257(出願登録期間の9:00～20:00)

(2) 提出書類

インターネット出願登録完了後、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に次の①及び②の書類等を入れて提出してください。

- ① インターネット出願登録サイトから登録・印刷(A4サイズで印刷)

提出書類	摘 要
出願確認票(提出用)	インターネット出願登録及び入学検定料支払い後、印刷したもの。 ※「提出用」の出願確認票を提出してください。「確認用」の出願確認票ではありませんので、注意してください。
宛名ラベル	角形2号封筒の表面に宛名ラベルを貼り付けて、その封筒の中に提出書類を全て封入のうえ、提出してください。

② 出願者が準備する提出書類（提出書類の記入は、黒ボールペン又は黒ペンを使用してください。）

提出書類	摘 要
調査書	文部科学省で定めた様式により出身学校長が作成し厳封したもの。
推薦書 （ ・農学部植物生産環境科学科及び応用 生物科学科は、推薦書の内容を証明す る書類のコピーを添付 ）	<p>本学所定の様式（A4サイズ・片面印刷）により、推薦する出身高等学校長が作成し、厳封したもの。</p> <p>様式は下記URLからダウンロードしてください。 https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/recommen/recommend.html</p> <p>（注）記載にあたっては、上記URLにある「推薦書記入上の注意」をよく読んでください。 特に、農学部植物生産環境科学科、応用生物科学科及び地域資源創成学部については「推薦書記入上の注意」の指示内容に注意してください。</p>
志望理由書	<p>本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。</p> <p>様式は下記URLからダウンロードしてください。 https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/recommen/recommend.html</p> <p>（注）教育学部学校教育課程発達支援教育コース特別支援教育専攻は不要。</p>

調査書の記載についての注意事項（出身高等学校長の皆様へ）

- ① 「2. 各教科・科目等の学習の記録」欄の「修得単位数の計」は必ず記入してください。
また、第3学年における「評定」欄を記載できない場合は、その理由を付してください。
- ② 学習成績概評A段階に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、**「4. 学習成績概評」欄に㊸と標示した場合には、「8. 備考」の欄にその理由を明示してください。**
- ③ 「校長名」及び「記載責任者職氏名」は必ず明記し、押印（写しは不可）してください。

(3) 提出書類（出願書類）の受付期間等

出願期間 令和4年（2022年）11月1日（火）～11月4日（金）17時まで（必着）

- ① 提出は原則、郵送とします。
ただし、出願期間の平日9時から17時まで持参可能です。
- ② 郵送の場合は必ず**簡易書留・速達**とし、入試課へ**期間内必着（17時必着）**とします。ただし、**期間内に到着しない場合は受理しませんので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。**
- ③ インターネット出願登録期間については、令和4年（2022年）10月25日（火）～11月4日（金）17時までとしており、**事前に登録可能**です。

(4) 提 出 先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
 宮崎大学学び・学生支援機構入試課
 電 話：0985-58-7138
 F A X：0985-58-2865

(5) 提出方法

- ① インターネット出願登録及び入学検定料支払い後にインターネット出願登録サイトから宛名ラベルを印刷してください。市販の角形2号封筒(240mm×332mm)にそれを貼り付け、(2)の提出書類を全て入れ、厳封のうえ「**簡易書留・速達**」で郵送してください。
- ② 国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)への学校推薦型選抜の出願は、大学入学共通テストを課す、課さないに関係なく、一つの大学の一つの学科等に限ります。

(6) 注意事項

- ① インターネット出願登録サイトにおいて出願登録を完了した後は、志望学科等の変更はできません。(それ以前であれば、インターネット出願登録サイトから変更できます。)
- ② 提出書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。
- ③ 志望学部が農学部の場合、出願要件の学科が「総合学科」に該当する者は「農業に関連のある学科(農業に関連のある科目を25単位以上履修している者)」かどうかを選択してください。また、「理数科」「農業科」「工業科」「商業科」及び「その他」に該当する者は関連する学科について選択してください。それぞれ選択する際には、該当するものを担当の先生に確認してください。

※高等学校の先生方へ(生徒が農学部を志望する場合)

貴校の学科が、「理数科」「農業科」「工業科」「商業科」「その他」に該当する場合(高等学校設置基準で規定された「専門教育を主とする学科」の場合)、高等学校設置基準第6条第2項に規定する学科(第一号から第十五号)の中から、貴校が設置認可を受けた学科を選択するよう、生徒に指導をお願いします。

- ④ 受付後の提出書類等は返還しません。
- ⑤ 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 既納の検定料及び個人成績開示請求手数料は、以下の場合を除き、返還いたしません。
 - ア 提出書類を郵送又は持参しなかった場合
※インターネット出願登録だけでは、出願手続は完了しません。その後、入学検定料を支払い、(3)の受付期間内に(2)の提出書類を全て郵送することで完了します。
 - イ 提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合
 - ウ 誤って二重に支払った場合

返還請求の方法

検定料返還請求願(様式は問いません。氏名(フリガナ)、入試区分、個人成績開示請求の有無、返還請求理由、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報(銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義(カタカナ))を明記したもの)を作成し、**以下宛へ令和5年(2023年)3月31日(金)(必着)までに、速やかに郵送してください。**なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、令和5年(2023年)4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学財務部財務課出納係
電話：0985-58-7122(土曜日・日曜日及び祝日を除く)

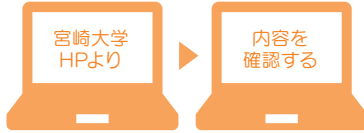
出願の流れ

1 募集要項の確認

本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、自分が受験する学部・学科・課程の出願資格、出願期間、必要書類、試験日、受験科目等を確認します。

募集要項掲載URL

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/>



2 出願情報の入力

インターネットに接続しているパソコンから、画面の指示に従って以下の内容を入力します。

●入力内容

◎入試区分の選択◎志望学部・学科・課程、受験科目等の選択

◎個人情報の入力

インターネット出願登録サイト

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>

出願登録サイトから
入力する



4 出願情報の登録

3で出願情報に修正がなければ、登録をします。
※登録後は出願情報の変更はできませんので、3で修正がないかよく確認してください。

出願登録サイトから
登録する



3 出願情報の確認・修正

入力した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できますので、学校の先生や保護者の方が確認する場合も簡単です。



5 検定料支払い方法の選択

検定料の支払い方法を選択します。

●支払い方法

◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア

◎銀行ATM(バイジー)◎ネットバンキング



6 検定料のお支払い

選択した支払い方法に従って検定料を支払います。



8 出願確認票等の印刷

出願確認票等を印刷します。



7 写真データの登録

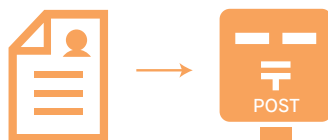
インターネット出願システムの「申し込み一覧」より写真データを登録します。



9 提出書類の郵送

出願確認票(8で印刷したもの)、調査書等提出が必要な書類を宮崎大学へ郵送又は持参し、出願完了です。

提出書類を郵送する
直接持参してもOK



10 受験票の印刷

募集要項に記載している期日以降に、インターネット出願システムの「申し込み一覧」から受験票の印刷が可能となります。

A4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。

受験票を印刷する



インターネット出願システムの操作・登録方法等の詳細については、志願受付操作サポート窓口までお問い合わせください。
志願受付操作サポート窓口:0120-752-257(出願登録期間の9:00~20:00)

(7) 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に本学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、令和4年(2022年)10月14日(金)までとします。

出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へ連絡してください。

②相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書を添えて提出してください。(郵送可)

- ア 志願者氏名・志望学部・学科
- イ 障がい等の種類・程度
- ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項
- エ 出身学校でとられていた配慮事項
- オ 日常生活の状況
- カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

③相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電話：0985-58-7138
FAX：0985-58-2865
(土曜日・日曜日及び祝日を除く)

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

5. 受験票の印刷

令和4年（2022年）11月14日（月）以降に、インターネット出願システムの「申し込み一覧」から受験票の印刷が可能となります。A4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。

6. 選抜方法等

(1) 各学部（学科・課程等）の選抜方法等

教育学部

学校教育課程教職実践基礎コース（宮崎県教員希望枠）

(1) 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接、小論文及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書、調査書及び本人自筆の志望理由書）の結果を総合して選抜します。なお、アドミッション・ポリシー等に則した選抜を実施するため、選抜は、宮崎県教育委員会の協力を得て実施します。

(2) 選考方法

- ア. 小論文……当日提示する課題について論述し、解答時間は90分とします。
- イ. 面接……複数の教員で行い、口述試験を含み、コースに関わる基礎能力及び適性等をみます。なお、個人面接（1人10分から15分程度）のほかに集団面接を実施します。

学校教育課程発達支援教育コース特別支援教育専攻

(1) 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接、小論文及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書及び調査書）の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法

- ア. 小論文……当日提示する課題について論述し、解答時間は90分とします。
- イ. 面接……複数の教員で行い、口述試験を含み、コースに関わる基礎能力及び適性等をみます。なお、個人面接（1人10分から15分程度）のほかに集団面接、適性検査等を実施します。

・選考日時及び試験場

- ア. 選考日時 令和4年（2022年）11月24日（木）9時から（8時30分までに集合）
※受験者数によっては長時間にわたることもあります。
※「受験案内」を、受験票ダウンロード時に併せてインターネット出願システムの「申し込み一覧」へ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。
- イ. 試験場 宮崎大学教育学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL：0985-58-2891
- ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔学校推薦型選抜〕
②筆記用具
- エ. その他 詳しくは、試験当日教育学部玄関前に掲示します。

農 学 部

植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境学科、畜産草地科学科

(1) 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書及び調査書並びに本人自筆の志望理由書）の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法

ア. 書類選考…出身高等学校長からの推薦書及び調査書、本人自筆の志望理由書によって行います。
イ. 面接…複数の教員で個人面接を行います。面接には、口述試験を含み、専門に関わる基礎能力及び適性等をみます。

面接時間は、以下のとおりです。

- ・植物生産環境科学科－1人20分程度
- ・森林緑地環境科学科－1人20分程度
- ・応用生物科学科－1人10分～20分程度 ※
- ・海洋生物環境学科－1人20分程度
- ・畜産草地科学科－1人20分程度

※応用生物科学科は面接を行う前に試問内容を提示し、面接でそれに関する口述試験を行います。

(3) 選考日時及び試験場

ア. 選考日時 令和4年（2022年）11月22日（火）又は23日（水）

※いずれか1日の受験となります。

※各学科の試験実施日については、令和4年（2022年）11月7日（月）までに、農学部ホームページ（<https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/>）にて公開します。

※各志願者の選考日時は、「受験案内」で通知します。「受験案内」は受験票ダウンロード時に併せてインターネット出願システムの「申し込み一覧」へ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。

イ. 試験場 宮崎大学農学部（木花キャンパス）

宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL：0985-58-3834

ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔学校推薦型選抜〕

②筆記用具

エ. その他 詳しくは、受験案内にて通知します。

地域資源創成学部

地域資源創成学科

(1) 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文、及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書、調査書、本人自筆の志望理由書）を踏まえた面接の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法

ア. 小論文…小論文は、当日提示する課題について論述し、解答時間は100分とします。

イ. 面接…面接は複数の教員で個人面接を行い、社会や地域の問題への関心をみます。

個人面接は、1人15分程度とします。

(3) 選考日時及び試験場

ア. 選考日時 令和4年（2022年）11月26日（土）9時から（8時30分までに集合）

※「受験案内」を、受験票ダウンロード時に併せてインターネット出願システムの「申し込み一覧」へ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。

イ. 試験場 宮崎大学地域資源創成学部（木花キャンパス）

宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL：0985-58-7847

ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔学校推薦型選抜〕

②筆記用具

エ. その他 詳しくは、受験案内及び試験当日地域資源創成学部玄関前の掲示をご確認ください。

(2) 各学部（学科・課程等）の配点

学部（学科・課程等）名		小論文	面接	書類審査	合計
教育学部 学校教育課程	教職実践基礎コース	80	120		200
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	60	140		200
農学部	植物生産環境科学科	—	300	100	400
	森林緑地環境科学科	—	300	100	400
	応用生物科学科	—	200	100	300
	海洋生物環境学科	—	300	100	400
	畜産草地科学科	—	200	100	300
地域資源創成学部	地域資源創成学科	150	150	※	300

※ 面接において利用します。

(3) 合否判定基準

合計得点により順位付けを行い、合否を決定します。

ただし、① 志望する学部（学科・課程等）が指定する小論文・面接等をすべて受験しなければ、合否判定の対象にはなりません。

② 合計得点が高点の場合は、次表に示す教科・科目等の優先順位により順位付けを行います。

学部	学科・課程（コース・専攻）	優先順位
教育学部	学校教育課程 教職実践基礎コース（宮崎県教員希望枠） 発達支援教育コース 特別支援教育専攻	①面接の得点 ②小論文の得点
農学部	植物生産環境科学科	①面接試験の結果 ②志望理由書の結果
	森林緑地環境科学科	①面接試験の結果
	応用生物科学科	①面接試験の結果 ②推薦書の結果
	海洋生物環境学科	①面接試験の結果
	畜産草地科学科	①面接試験の結果 ②志望理由書の結果 ③調査書の結果
地域資源創成学部	地域資源創成学科	①面接の得点 ②小論文の得点

7. 受験上の注意事項

(1) 試験前日までの注意事項

- ① 試験場については、試験日前日の午後に各試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。
- ② 重要なお知らせ等がある場合は、以下の本学ホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。
URL : <https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam>
- ③ 天候や交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することの無いよう、万全の準備を行ってください。

(2) 試験当日の注意事項

- ① 本学の受験票を必ず持参してください。
- ② 指定された時間までに指定された集合場所にて待機してください。
また、やむを得ない事情で遅刻する場合は必ず以下へご連絡ください。
 - ・教育学部試験場：教務・学生支援係 TEL：0985-58-2891
 - ・農学部試験場：教務・学生支援係 TEL：0985-58-3834
 - ・地域資源創成学部試験場：教務・学生支援係 TEL：0985-58-7847
- ③ 試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、農学部においては、受付時間終了後 30 分を過ぎて遅刻した場合、受験を認めません。
- ④ 試験中は、本学の受験票を机の通路側上に置いてください。
- ⑤ 机の上には、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類を除く。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可。線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの（それらの機能の有無が判別しづらいものを含む。）、秒針音のするもの、キッチンタイマー及び大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）以外の所持品を置いてはいけません。
- ⑥ 試験室では監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。また、試験時間中に用があるときは手を挙げてください。
- ⑦ 試験中の退室はできません。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ⑧ 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。また、これらの電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身につけないでください。身につけていたり、手にもっている場合、不正行為となることがあります。
- ⑨ 試験中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームは設定を解除してください。
- ⑩ その他、「9. 新型コロナウイルス感染症への対応及び留意点」（20 ページ）を必ず確認してください。

(3) チャットボットについて

本学ホームページ（<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>）の画面の右下に「もうくんチャットボット」が表示されます。「受験生向け Q&A」には過去の受験生からの質問に対する回答を掲載していますので、ご確認ください。

8. 不正行為について

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ① 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ② カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ⑨ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- (2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、（1）と同様です。

- ① 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9. 新型コロナウイルス感染症への対応及び留意点

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の点に協力をお願いします。

(1) 感染防止のための注意事項

日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

(2) 医療機関での受診

試験日の1週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関を受診してください。

(3) 受験できない者

- ①新型コロナウイルスに罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- ②海外から日本に入国して受験する場合、防疫対策として入国後の待機期間中である者

(4) 無症状の濃厚接触者

発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者については、以下の条件のもと、受験できる場合がありますので、下記の問い合わせ先に連絡してください。

- ①初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査（行政検査））の結果、陰性であること
- ②受験当日も無症状であること
- ③公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと

(5) 試験当日における対応

試験当日に発熱や咳等の症状がある受験生は、すみやかに監督者等の本学関係者に申し出てください。該当者には本学が準備した抗原検査キットを使用し、抗原検査を行います。検査の結果が陽性であった場合、受験することはできません。検査の結果が陰性であった場合でも、別室受験となる可能性がありますので、ご承知おきください。

症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では、昼食時以外は常に着用すること。何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、下記の問い合わせ先にあらかじめ連絡のうえ、指示を受けてください。また、休憩時間や昼食時、入退場時等は他者との接触、会話を極力控えてください。

(6) 試験当日の服装、昼食

試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、冬季においては、上着など暖かい服装を持参してください。また、昼食を持参し、自席で黙食してください。

問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構入試課
TEL 0985-58-7138

10. 合格者発表

- (1) 令和4年(2022年)12月9日(金)10時から本学ホームページ(<https://www.miyazaki-u.ac.jp>)に合格者の受験番号を掲載し、合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。
- (2) 選考結果は令和4年(2022年)12月9日(金)付けで推薦学校長に通知します。
- (3) 合格者の発表は、合格者本人宛に発送する『合格通知書』が正式なものとなりますので、必ず『合格通知書』で確認してください。
- (4) 合格者発表に関する電話等の照会には一切応じません。
- (5) この学校推薦型選抜では、本学で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査します。そのため、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

11. 一般選抜、学校推薦型選抜への出願及び受験

国公立大学・学部等への学校推薦型選抜の出願は、大学入学共通テストを課す、課さないに関係なく、1つの大学の1つの学科等に限り、この学校推薦型選抜で不合格となった場合に備えて「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学のそれぞれ1つの学科等の一般選抜への出願及び受験が可能です。

12. 本学の一般選抜を志望する者の手続

学校推薦型選抜志願者で本学の一般選抜を志望する者は、一般選抜学生募集要項により令和5年(2023年)1月23日(月)から2月3日(金)までに、一般選抜の志願者として出願してください。
〔本学の一般選抜学生募集要項は、令和4年(2022年)11月中旬に発表する予定です。〕

13. 入学手続等

(1) 入学手続期間

令和5年(2023年)2月20日(月)まで(17時必着)

上記期日までに入学手続きを完了しない者は、学校推薦型選抜合格者としての権利が消滅します。

原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡の上、来学しての入学手続が可能です。

(2) 入学手続方法

合格者は、入学手続期間内に入学手続書類を提出し、所定の入学料を納入のうえ、入学手続を完了してください。

(3) 納 入 金

① 入学料 282,000円

(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(注2) 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

ア. 入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

イ. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

② 授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円 年額 535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

(注2) 授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。授業料に関する事項はホームページ

(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/>)にてご確認ください。

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学手続の際に提出を求める書類等

合格者には、合格通知書、入学手続関係書類を送付します。必要事項を記入のうえ、これらの書類を提出してください。また、本学の受験票を提出してください。

(5) 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から新設された制度で、以下の2つの支援からなります。

・日本学生支援機構の給付奨学金(原則返還不要)

・入学料・授業料の免除又は減額

対象：住民税非課税世帯・準する世帯の学生(留学生や大学院生は対象外)

※申込資格や選考基準(収入や成績の基準)は以下のサイトを確認ください

日本学生支援機構(給付奨学金：申込資格や選考基準)

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/shikaku/zaigaku.html#kakei>

(6) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は一部を免除することがあります。

①令和5年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度

②令和5年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度

③入学前1年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。

(5)に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

※③の対象となる災害については、令和5年2月中旬頃に本学学生支援関係HP上で通知予定。

(7) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することができます。

- ①令和5年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度
 - ②令和5年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度
 - ③経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
 - ④入学前1年以内において本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
 - ⑤入学前1年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
 - ⑥上記④⑤に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合
- ※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。
(5)に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

(8) 授業料免除及び徴収猶予

次のいずれかに該当し、授業料の納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。

- ①令和5年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度
 - ②令和5年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度
 - ③本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合
- ※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。
(5)に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。
※③の対象となる災害については、令和5年2月中旬頃に本学学生支援関係HP上で通知予定。

高等教育修学支援体制、入学料免除・徴収猶予、授業料免除に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課 電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係HP ※最新情報は以下のサイトをご参照ください

<https://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/campuslifeinfo/campuslifeinfo.html>

(9) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し優秀な人材の輩出を図ることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課 電話：0985-58-7140（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係HP ※最新情報は以下のサイトをご参照ください

<https://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/campuslifeinfo/campuslifeinfo.html>

(10) 教育用ノート型パソコンの購入・必携化について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、1年次の基礎教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続き時に再度ご案内いたします。

(11) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」、「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入することをおすすめしています。（但し、学部によっては別途指示がある場合があります。）また、「学研賠」、「医学賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガを負わせた場合や、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続書類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課 電話：0985-58-7135（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(12) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、下記①のとおり11月初旬に掲載する「学生寄宿舍入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。また、ダウンロードできない方は、下記②のとおり「学生寄宿舍入居申請要項」を請求し、同要項に綴り込みの「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は必ず提出期限までに提出してください。

① ダウンロードによる学生寄宿舍入居申請要項の請求について

本学学生支援関係HP（<https://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/home.html>）にある重要なお知らせの学生生活情報の欄をご覧ください。

② 学生寄宿舍入居申請要項の請求

ア 請求方法：返信用封筒（角形2号、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、140円分の切手を貼付したもの）を同封し、「学生寄宿舍入居申請要項（学校推薦型選抜）請求」と朱書の上、請求してください。

イ 請求先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課
電話：0985-58-7142

ウ 請求期限：令和5年（2023年）1月4日（水）

③ 学生寄宿舍の概要

寄宿舍名	男子寄宿舍	女子寄宿舍	国際交流宿舎
収容定員	100人	100人	165人
募集人員	5人	5人	5人
入居資格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生(男・女)
入居許可期間	1年間(令和5年(2023年)4月~令和6年(2024年)3月) ※4年間を保証するものではありません。		
寄宿料	月額7,000円		月額4,700円
構造	鉄筋コンクリート5階建		鉄骨鉄筋コンクリート8階建
居室定員	1人(個室)		
居室面積	9㎡	9㎡	11㎡
共用施設	補食室(自炊可能)、浴室、洗濯室、トイレ(国際交流宿舎は居室に設置)		
諸経費	光熱水費等 月額 8,000円程度		
所在地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

(注1) 募集人員には、学校推薦型選抜合格者、総合型選抜合格者、帰国生徒選抜合格者、社会人選抜合格者及び編入学試験合格者が含まれます。

(注2) 在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。

(注3) 建物内及び周辺に喫煙場所はありません。

14. 入学手続に関する注意事項

- (1) 学校推薦型選抜の合格者は、その趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然ですが、特別の事情があり、推薦を行った高等学校長が令和5年(2023年)2月20日(月)17時までに「入学辞退願」を本学学長に提出し、その承認を得た場合に限りその入学辞退を認めます。
- (2) 上記(1)により入学辞退を承認された者は、国公立大学・学部の一般選抜を受験することができます。
- (3) 「入学辞退願」を提出して当該大学の入学の辞退を承認されない限り、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても、その国公立大学・学部の合格者とはなりません。

15. 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報等に限り、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知されます。
- (6) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学指導等)②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

16. 入学試験成績の情報開示

本学では、入学試験の結果について、募集単位（学科、課程、コース等）毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。

記

1. 開示請求者

本学が実施した令和5年度（2023年度）入学試験を受験した者

2. 開示請求の方法

インターネット出願登録サイト上で、出願登録時に「個人成績開示請求」の欄を「希望する」と選択してください。

※個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

3. 開示請求期間

令和4年（2022年）10月25日（火）から11月4日（金）

4. 開示情報の内容

総合得点による順位

5. 開示期間

令和5年（2023年）5月15日（月）から6月14日（水）

6. 開示の方法

個人成績開示をオンライン上で実施します。

開示期間中は専用サイトに受験番号・生年月日・パスワード（インターネット出願登録時のセキュリティコード）でログインの上、個人成績を確認できます。詳細は令和5年5月上旬頃下記に掲載します。

個人成績開示案内URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/disclosure.html>

7. 開示請求手数料

1 選抜ごとに800円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

8. その他の注意事項

（1）開示期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。

（2）郵送、電話、メール及び入試課の窓口での開示請求については受け付けません。

（3）既納の開示請求手数料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合

イ 入学検定料と開示請求手数料を誤って二重に払い込んだ場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

宮崎大学学び・学生支援機構入試課

電話：0985-58-7138

17. 統計資料

令和4年度（2022年度）宮崎大学 学校推薦型選抜 実施状況

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者		合格者		入学者	
			総数	倍率	総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース	22	50	2.3	50	(30)	22	(17)	22	(17)
	小学校主免専攻	15	29	1.9	29	(18)	15	(12)	15	(12)
	中学校主免専攻	7	21	3.0	21	(12)	7	(5)	7	(5)
	教職実践基礎コース	5	15	3.0	15	(8)	5	(4)	5	(4)
	発達支援教育コース	6	16	2.7	16	(14)	6	(6)	6	(6)
	子ども理解専攻	3	8	2.7	8	(7)	3	(3)	3	(3)
	特別支援教育専攻	3	8	2.7	8	(7)	3	(3)	3	(3)
	小計	33	81	2.5	81	(52)	33	(27)	33	(27)
医学部	医学科	40	94	2.4	94	(60)	33	(17)	33	(17)
	地域枠A	10	36	3.6	36	(27)	10	(5)	10	(5)
	地域枠B	15	33	2.2	33	(14)	15	(5)	15	(5)
	地域枠C	15	25	1.7	25	(19)	8	(7)	8	(7)
	看護学科	20	49	2.5	49	(43)	20	(18)	20	(18)
	小計	60	143	2.4	143	(103)	53	(35)	53	(35)
農学部	植物生産環境科学科	10	20	2.0	20	(8)	10	(5)	10	(5)
	森林緑地環境科学科	7	16	2.3	16	(6)	7	(3)	7	(3)
	応用生物科学科	13	28	2.2	28	(20)	13	(13)	13	(13)
	海洋生物環境学科	4	10	2.5	10	(3)	4	(1)	4	(1)
	畜産草地科学科	12	21	1.8	21	(13)	12	(8)	12	(8)
	小計	46	95	2.1	95	(50)	46	(30)	46	(30)
地域資源 創成学部	地域資源創成学科	20	67	3.4	67	(43)	20	(14)	20	(14)
	小計	20	67	3.4	67	(43)	20	(14)	20	(14)
合計		159	386	2.4	386	(248)	152	(106)	152	(106)

18. 試験場配置図

宮崎大学（木花キャンパス）入学試験場

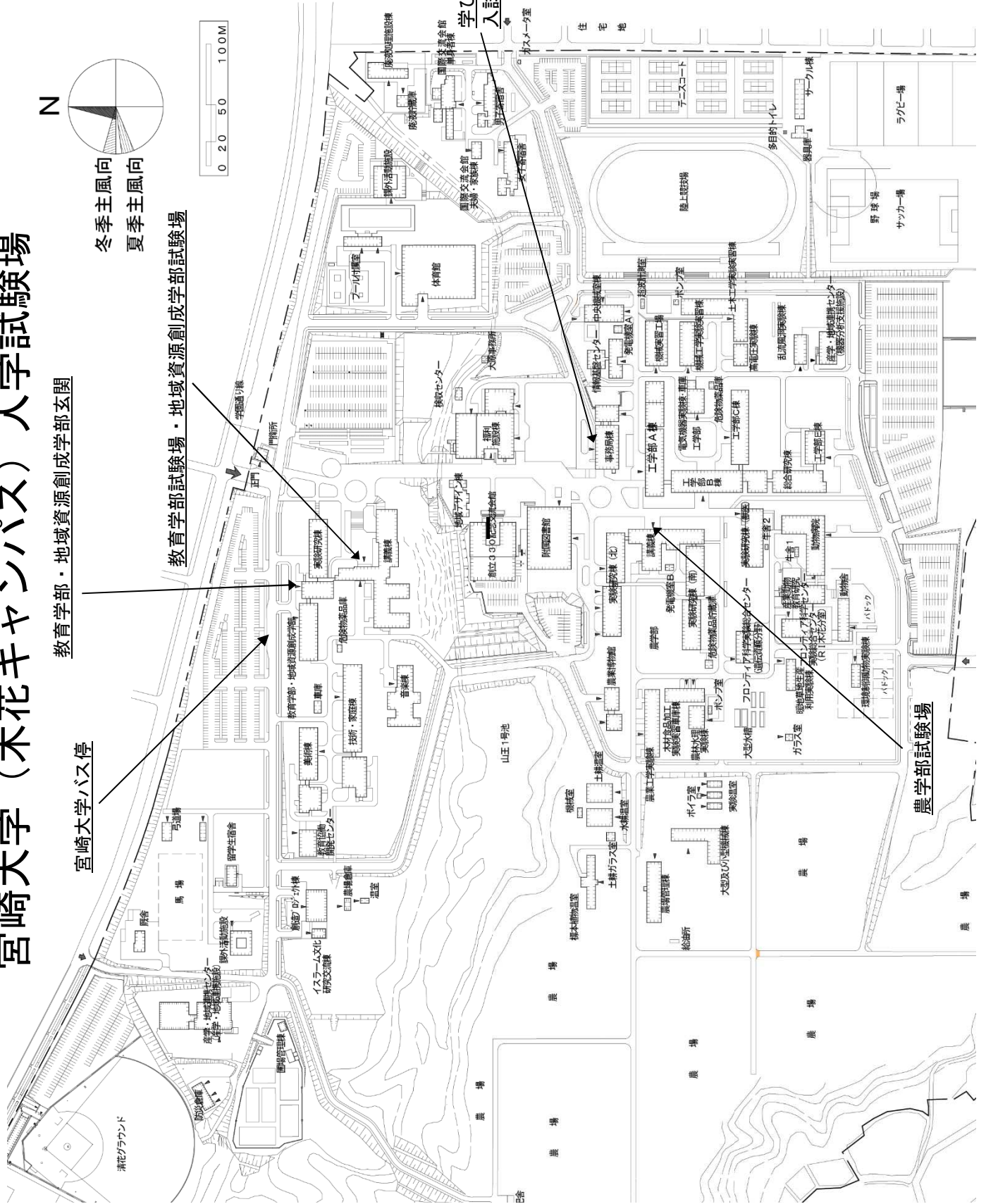
教育学部・地域資源創成学部玄関

宮崎大学バス停

教育学部試験場・地域資源創成学部試験場

学び・学生支援機構
入試課

農学部試験場



宮崎大学 位置図



【木花キャンパス】教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部
〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

【清武キャンパス】医学部
〒889-1692 宮崎県宮崎市清武木原5200番地

宮崎大学までの交通機関

(JR南宮崎駅近く)	宮交バス	
宮交シティバスセンター	→ 「宮崎大学・大学病院行」に乗車	→ 約25分
JR清武駅 (徒歩2分) JR清武駅前バス停	宮交バス	
(徒歩5分) 清武総合支所前バス停	→ 「宮崎大学・大学病院行」に乗車	→ 約15分
宮崎空港	タクシー	
	→ 宮崎大学まで 約8km	→ 約15分
宮崎港	宮交バス	
→ 「宮交シティ行」	→ 約30分	→ 「宮崎大学・大学病院行」に乗車
		→ 約25分
宮崎自動車道・東九州自動車道	清武インターチェンジから	→ 約15分

各種問い合わせ先

入試全般	・・・学び・学生支援機構入試課	(電話 0985-58-7138)
入学手続	・・・学び・学生支援機構総務係	(電話 0985-58-7427)
授業料納入	・・・財務部財務課	(電話 0985-58-7122)
授業料免除	・・・学び・学生支援機構学生支援課	(電話 0985-58-7976)
奨学金	・・・学び・学生支援機構学生支援課	(電話 0985-58-7140)
学生寄宿舎	・・・学び・学生支援機構学生支援課	(電話 0985-58-7142)

入学者選抜試験日程 (令和4年11月 ~ 令和5年2月)

大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

教育学部 農学部 地域資源創成学部

募集要項の公表 9月中旬

出願期間

11月1日(火)~11月4日(金)

試験日

教育学部
11月24日(木)

農学部
11月22日(火)又は
11月23日(水) ※

地域資源創成学部
11月26日(土)

合格発表日

12月9日(金)

入学手続

2月20日(月)まで

※ いずれか1日の受験となります。

宮崎大学の入試に関するお問い合わせ先

〒889-2192

宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学学び・学生支援機構入試課

電話 0985-58-7138

ホームページ <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>